



潮中だより

令和5年3月吉日発行 第15号（最終号）
稚内市立潮見が丘中学校（Tel:34-3315）

仁 譲 自 立

自ら学び知性をみがく生徒
心情豊かで仲間と共に伸びる生徒
心身ともにたくましく成長する生徒

『先行き不透明で、不確実な世界』へ巣立つ君たち

潮見が丘中学校 校長 齊 藤 康 輔

「先行き不透明で、不確実な世界」へ巣立つ生徒たち。先日、第40回卒業証書授与式において式辞として生徒たちに話しました。「予測困難な時代」…生徒たちが巣立っていく『未来』です。そのことを、我々大人は「しっかりと伝えてきた」のでしょうか？

甘い期待感を持たせて、ごまかしていたのではないのでしょうか？…「厳しい現実」が突きつけられるのが社会です。以下、式辞で生徒たちに伝えた内容です。

卒業生のみなさん

ここ数日は、三年間の中学校生活に、様々に思いを馳せたことと思います。

楽しかったことも苦しかったことも辛かったことも…友達とのぶつかり合いで憎しみを感じたことも、または、助けられたことで感謝したことも、好意を寄せた人に心をときめかせたことも…共に戦い支え合い深い友情を感じたことも…それぞれに思い出されるとと思います。その想いの一つ一つは、君たちが生きている証であり、人との「つながり」の証明に他なりません。

覚えてくれていると嬉しいですが、昨年四月、私が潮見が丘中学校に赴任をして、この壇上から君たちに話したことです。それは、『人はつながりの中で生きている・生かされている』という話をしました。

先ほどの様々な感情・心の動きは、全て対象となる相手がいないのでは芽生えないのです。五感を通じて感じることは、**「心の動き」に直結しています。**

その動きが多い人ほど、多くのつながりを求めて「挑戦」してきた人です。多くの失敗をしてきた人です。君たちの命を活性化させてくれたもの…君たちの周りにいる全ての人たちとの「つながり」です。

卒業式は終わりではありません。全てはつながっています。一つの区切りです。

この瞬間から、既に新しく始まっています。

卒業して、四月から新しい生活が始まります。でも、あなたはそのままのあなたですよ。周囲の状況がどのように変化しようとも、あなたはあなた、他の別の誰かに変身するわけではありません。変わらないのです。

この卒業という区切りから先は、「自分で変わろう」としなくては何も変わりません。周りの状況変化が自分を変えてくれるだろう…等と考えていたら大きな間違いです。何かが誰かが「変えてくれる」と期待している人は、進学しても「期待外れ」だったと言って、変わらなかった自分の原因を他の誰かや何かに責任を押し付けて逃げ出すことでしょう。

君たちのこれからの世の中は、

「先行き不透明で不確実な世の中」であり「予測困難な時代」です。

決して生活しやすい環境ではありません。

だからこそ、「つながり」を自分から発信して強く深く広くしてください。

必要な力・姿勢は、「自分から変わろう・自分からつながろう」とすることです。これまでの「つながりの中で生かされてきた自分」を振り返って、これからの自分はどのように「つながり」を築いていくのか真剣に考えて下さい。

『持続可能な社会』を築く、新しい力となる君たちです。

君たち自身が、自らの力で『持続可能な社会』を築いていこうとすることが必要なのです。何が出来るのか 自分の役割は何なのか 考えて下さい。

これからも多くの「つながりの中で」君たちが輝いていくことを楽しみにしています。

1年間、ありがとうございました。

次年度もよろしくお願いします。



潮見が丘中学校の様子はホームページからも発信中。

<https://shiomigaoka-j.edumap.jp/>

URLかQRコードからご覧ください！



第40回 卒業証書授与式

3月11日（土）本校で第40回卒業証書授与式が執り行われました。数日前になくなりかけていた雪がまた積もって、当日の天気も心配されましたが穏やかな式となりました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、今年度もPTA会長を除いてご来賓の方の出席をお断りして開催いたしました。在校生は昨年同様、教室で式の様子を参観しました。体育館では保護者の見守る中、無事に式を終えることができました。関係されたすべての方々に感謝申し上げます。

入学時からコロナの影響を受けてきた卒業生たち。しかし、そんな中でもみんなで工夫しながら学校の中心として活躍しました。予測困難な時期の中で学校生活を過ごした経験を生かしてそれぞれの新たな場で活躍してくれることでしょう！

保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。これまでの3年間、学校への取組に対してのご理解とご協力をありがとうございました。



ご卒業 おめでとうございます！

離任・退職のごあいさつ

保護者・地域のみなさま、生徒のみなさま、お世話になりました。

離任・退職する
教職員より

教頭 柏谷 健太郎



この度、枝幸町立枝幸中学校に異動することになりました。潮見が丘中学校での2年間。明るく元気な生徒たち、そして協力的な保護者・地域のみなさま、ともに子どもたちの成長を願う教職員集団。ここで過ごしてきた経験は大変貴重な財産となりました。次の学校でも頑張っていきたいと思います。これまで本当にありがとうございました。

教諭 相馬 匠



この度、利尻町立利尻中学校へ異動することとなりました。初めての担任、初めての卒業担任と幸せな経験をさせていただきました。素直な潮中生とともに過ごした日々は本当に楽しく、あっという間の4年間でした。潮中での経験を糧に頑張っていきたいと思います。これからも素直な潮中生の応援団員として応援しています。4年間ありがとうございました。

教諭 中畑 勇五



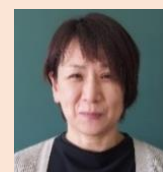
昨年異動したにもかかわらず、この潮見が丘中学校で再びお世話になりました。特別支援学級と文化部の補助として、一週間に二、三日程度でしたが、慣れた環境で働くことができ、大変嬉しく思います。新任地は稚内から離れたところになりますが、ここでの経験を生かして頑張りたいと思います。一年間、本当に有り難うございました。

退職される職員の皆様

※今後、新たに異動等が発生する場合があります



学校用務員
小林 一二三



スクールカウンセラー
塩田 久美



教員業務支援員
張間 ひとみ